

日南看護専門学校 単位認定試験 問題用紙

70

科目	基礎看護技術6 診療を支える看護技術	講義時間数	30/30 時間	単位数	1 単位
講師名	武田 朋子	試験月日	令和6年9月20日(金) 配点:100点		
学籍番号		学生氏名			

【問1】次の ( ) 内に適切な言葉を記入しなさい。漢字は正しく書くこと。 <2点×10=20点>

- ・診療とは ( ① ) ・ ( ② ) ・ ( ③ ) することであり、対象の健康状態を評価し、健康な状態を保持、増進できるように支援する働きかけをいう。 ①診察 ②検査 ③治療
- ・検査には、血糖測定のように患者の身体から採取できる種々の検査材料を対象とした ( ④ ) 検査と、心電図波形や経皮的動脈血酸素飽和度のように患者自身の身体を器械等を使用し直接的に調べる ( ⑤ ) 検査がある。 検体 生体
- ・診察中、看護師の立ち位置は原則として医師の ( ⑥ ) に立ち、患者に ( ⑦ ) ところで介助する。 反対側 近い
- ・検査において看護師は、検査に伴う患者の身体的侵襲を理解し、( ⑧ ) の軽減や ( ⑨ ) 確保に努める必要がある。また、前投薬を使用する場合には、使用薬剤の ( ⑩ ) の有無を確認する。 不安 安全

【問2】静脈血採血と筋肉内注射について ( ) 内に適切な語句を正しく書きなさい。 <2点×7=14点>

- 1) 採血では、( ① ) があり、太く、まっすぐな血管が適しており、上腕・前腕では ( ② ) 静脈・( ③ ) 静脈などがよく選択される。 肘窩 肘正中静脈
- 2) 静脈血採血では、針は刃面(ベベル)の角度が18度の ( ④ ) ベベルを使用する。
- 3) 筋肉内注射に適した部位であるクラークの点は、( ⑤ ) と ( ⑥ ) を結ぶ直線の前方1/3の点を特定する。 腸骨前上棘 腸骨後上棘
- 4) 静脈血採血や筋肉内注射において、針を刺入した際に必ず確認すべきことは ( ⑦ ) 損傷の有無である。( ⑦ ) 損傷が疑われる場合には、速やかに抜針する必要がある。 神経

【問3】与薬について、次の問いに答えなさい。 <2点>

次の4つの与薬方法を作用発現速度の速い順に、記号を並びかえなさい。

- ( a 経口 ・ b 経皮 ・ c 筋肉注射 ・ d 静脈内注射 )

d → c → a → b

-5  
-6  
-6  
-5  
-21  
18  
9  
9  
21  
99

【問4】与薬の原則である6Rを書きなさい。 <1点×6=6点>

正しい薬・患者量・方法・時間・目的

【問5】以下の説明文で正しいものには○を、誤っているものには×を記入しなさい。 <1点×15=15点>

- 1) 毒薬は、黒地に白枠・白字で品名を記す。
- 2) 劇薬は、赤字に白枠・白字で品名を記す。
- 3) 麻薬は人目につかない場所で管理し、残薬は速やかに破棄する必要がある。
- 4) 麻薬の事故が生じた場合、速やかに麻薬管理者は都道府県知事に必要事項を届ける。
- 5) 抗血栓薬であるワーファリンは、ビタミンK含有食品と摂取することで作用が増強する。
- 6) 薬剤が肝臓をってから体循環へ入ることを、初回通過効果という。
- 7) 患者さんが受け身ではなく積極的に治療方針の決定に参加し自ら薬物療法を実施することをアドヒアランスという。
- 8) 吸入とは肺や気管支に直接作用させることが可能であり、実施した後は含嗽を行うように指導する。
- 9) 直腸内与薬では、坐薬挿入後便意はできるだけ我慢してもらい、肛門から3~5cmの所に挿入する。

- X 10) 2種類以上の点眼時は5分程の間隔をあげ、油性点眼剤は最初に点眼するようにする。
- X 11) 点眼時に分泌物が付着している時は、外眼角から内眼角へ向かって拭く。
- O 12) Ca拮抗薬とグレープフルーツジュースを一緒に摂取すると、薬の作用が増強するため控えるよう指導する。
- X 13) 高齢者では、薬物動態の変化から薬効が強くなる場合が多く、副作用を避けるために投与量を減らすよう調節することが多い。
- X 14) 食間薬とは、食事をしている最中で服薬するものである。
- X 15) 生ワクチンは常温で保存し、溶解した薬剤は冷凍保存する。

-10

-6【問6】 次の問に答えなさい。 <3点×2=6点>

- 1) 点滴静脈内注射 760ml/6時間の指示があった。成人用輸液セットを用いた場合、1分間の滴下数は何滴か。小数点以下は四捨五入すること。  

$$x = \frac{760 \times 20}{6 \times 60} \quad x = 41$$
- 2) 小児用輸液セットを使用し、点滴静脈内注射をしている。現在の時刻は午前11時で、滴下数は毎分60滴、残量は380mlである。終了時刻は何時何分になるか。  

$$60 = \frac{380 \times 20}{x \times 60}$$

-6【問7】 輸血について適切な語句を( )内に記入しなさい。漢字は正しく書くこと。 <2点×5=10点>

- ・輸血における即時型副作用の代表的なものとして、ABO ( ① ) 輸血がある。即時型
- ・輸血の滴下は ( ② ) ml/分の速度でゆっくりと開始する。開始後 ( ③ ) 分間は患者のそばを離れず副作用症状の有無を観察する。輸血開始から ( ④ ) 分間経過した時点で再度バイタルサイン測定を行う。副作用症状がなければ、医師の指示を確認し、滴下速度を ( ⑤ ) ml/分に速める。

【問8】 血液製剤の特徴について、( )に適する数字を記入しなさい。 <2点×7=14点>

血液製剤の種類	保存方法・有効期限	
赤血球濃厚液(RCC)	①( 2 ~ 6 )℃で冷蔵保存	②採血後( 21 )日間有効
濃厚血小板(PC)	③( 20 ~ 24 )℃で水平振とう保存	④採血後( 4 )日間有効
新鮮凍結血漿(FFP)	⑤( -20 )℃以下で冷凍保存	⑥採血後( 1 )年間有効
	⑦( 30 ~ 37 )℃で融解し、解凍後すみやかに使用する。	

【問9】 ABO血液型の抗原・抗体の有無により、適合・不適合が決定される。以下の表を参考に、受血者の血液型に、各血液型の「赤血球製剤」、「血漿製剤」を輸血した場合、適合するものには○を、不適合となるものには×を記しなさい。 <1点×12=12点>

血液型	A	B	O	AB
赤血球	A抗原	B抗原	抗原なし	A・B抗原
血漿	抗B抗体	抗A抗体	抗A・B抗体	抗体なし

		赤血球製剤				血漿製剤			
		A	B	O	AB	A	B	O	AB
受血者の血液型	A	○①	×②	○③	×	○④	×⑤	×	○⑥
	O	×	⑦	⑧	⑨	○	○⑩	○⑪	○⑫

X O X

No.

80

問 1	① 診察	② 検査	③ 治療	④ 検体	⑤ 生体	
	⑥ 反対側	⑦ 近	⑧ 舌痛	⑨ 安楽	⑩ <del>アハキ</del> <del>アハキ</del>	
問 2	① <del>脈</del> <del>弾力</del>		② 肝正中皮	③ 橈側皮	④ <del>13</del>	
	⑤ 腸骨前上棘		⑥ 腸骨後上棘	⑦ 神経		
問 3	d → c → a → b					
問 4	① 正しい薬	② 正しい患者	③ 正しい量	④ 正しい方法	⑤ 正しい時間	⑥ 正しい目的
問 5	1) 0	2) X	3) X	4) 0	5) <del>0</del>	6) 0
	7) 0	8) 0	9) 0	10) X	11) X	12) 0
	13) <del>X</del>	14) X	15) X	/		/
問 6	1) <del>41</del> 滴			2) <del>18 時 20 分</del>		
問 7	① <del>即時型</del>		② 1	③ <del>15</del>		
	④ <del>5 15</del>		⑤ 5	/		
問 8	① 2~6	② 21	③ 20~24	④ 4		
	⑤ 3~20	⑥ 1	⑦ 30~37	/		

-2

-4

-2

-6

-6

問 9		赤血球製剤				血漿製剤			
		A	B	O	AB	A	B	O	AB
受血者の血液型	A	0	X	0	X	0	X	X	0
	O	X	X	0	X	0	0	0	0

※各空欄に○か×を記入しなさい